

## 6. プラスチック容器包装再商品化製品の用途別利用状況(指定法人ルート)

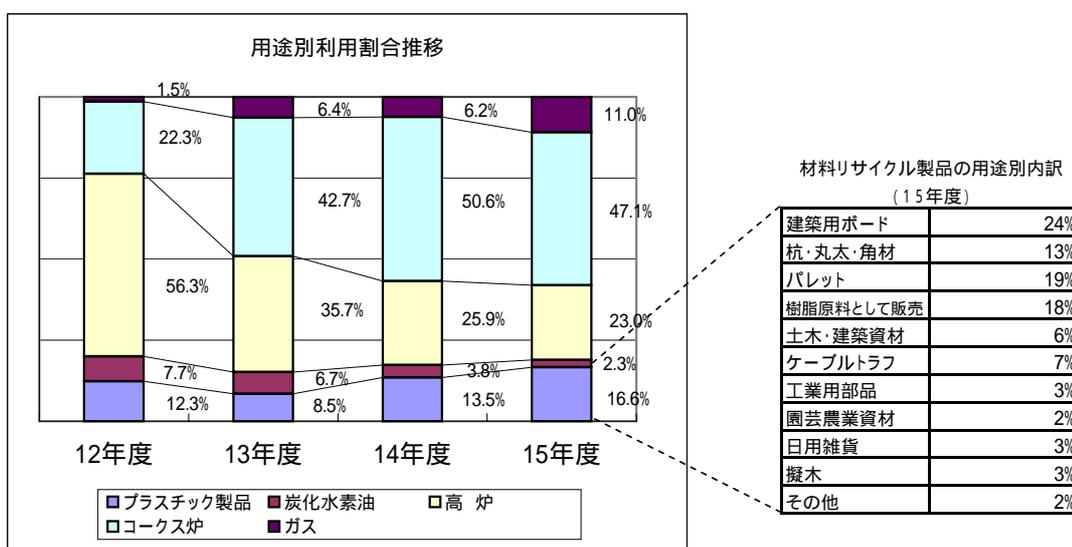
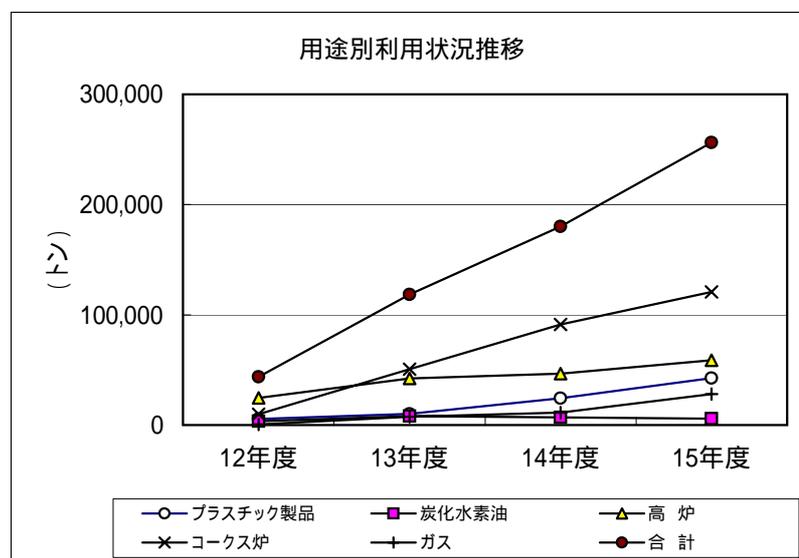
15年度利用状況を14年度比で見ると、水素及び一酸化炭素を主成分とするガスの利用は2.5倍、プラスチック製品等の原材料としての利用は約1.8倍となっているのを初めとして、炭化水素油を除き何れの用途も増加している。

15年度の用途別割合については、上記2品目の増加に伴い、コークス炉原料炭代替物が絶対量では前年から最も大きく増加したもののシェアは減少となった。

単位:トン

	プラスチック製品 原材料	炭化水素油	高 炉 還元剤	コークス炉 原料炭代替物	ガス	合 計
12年度	5,402	3,361	24,656	9,771	638	43,830
13年度	10,023	7,981	42,306	50,631	7,529	118,470
14年度	24,347	6,831	46,621	91,175	11,188	180,162
15年度	42,648	5,847	58,811	120,767	28,076	256,150

出所:(財)日本容器包装リサイクル協会



材料リサイクル製品の用途別内訳  
(15年度)

建築用ボード	24%
杭・丸太・角材	13%
パレット	19%
樹脂原料として販売	18%
土木・建築資材	6%
ケーブルトラフ	7%
工業用部品	3%
園芸農業資材	2%
日用雑貨	3%
擬木	3%
その他	2%